

## 資生堂、創業の地・銀座で「資生堂-銀座 未来計画」をスタート

資生堂は、2012年に創業140周年を迎えるにあたり、自らのオリジンを磨き直し、次代に向けて未来の物語を紡いでいく「資生堂-銀座 未来計画」というプロジェクトをスタートします。

1872年、日本初の洋風調剤薬局として創業した資生堂は、東洋と西洋の文化を融合しながら最先端の価値を世の中に発信し続けてきました。それは銀座の歩みと共通しています。「資生堂-銀座 未来計画」とは、銀座という創業の地において、化粧品や美容法のフィールドはもちろん、食文化や芸術文化などを含めた「美しい生活文化の創造を銀座と共にめざす」プロジェクトです。

その拠点として、2011年4月下旬、旧ザ・ギンザビル(中央区銀座7-8-9)跡地に、当社が積み重ねてきたリソースを結集した新たな美容施設をオープンするとともに、隣接する東京銀座資生堂ビル(中央区銀座8-8-3)1階と11階をリニューアルオープンします。2013年8月末に竣工を予定している本本社屋(中央区銀座7-5-5)を含めた3つのビルを、銀座から世界に向けた情報発信の場として新たに展開します。

### 旧ザ・ギンザビル

お客さまの美容に関するあらゆるニーズにお応えすることが出来るスペースを創出します。美容情報が氾濫するなか、ソリューション手段が多様化し、自分に合う化粧品やサービスに出会えていないと感じるお客さまに向けて、資生堂の長年の研究や経験に裏付けられた最適な化粧品や最新の美容メソッドを提供します。

### 東京銀座資生堂ビル

芸術文化及び食文化の情報発信拠点である同ビルは、旧資生堂パーラービル跡地に2001年3月に完成しました。2011年に10周年を迎えるにあたり、1階と11階をリニューアルオープンすることで、より多くの方に親しんでいただける新しい生活の喜びを見いだすことが出来る場にします。

### 本本社屋

建設から約40年が経過し老朽化が進んだことから、ビル自体の建て替えを行います。2011年5月より解体を始め、2013年8月末の竣工を予定しています。オフィス機能に加え、店舗機能や公共機能も有するビルを検討しています。

なお、2011年1月1日に全国紙、ブロック紙、地方紙に企業広告を掲載し、「資生堂-銀座 未来計画」の始まりを宣言します。資生堂が「美しい生活文化の創造」という企業理念に立ち返り、さらなる飛躍を目指していくという決意を「ことし、資生堂は銀座から未来をはじめます。」というコピーに託しました。